

江東未来会議
第3分科会（健康・福祉分野）
第1回 議事概要

日時：平成19年9月26日（水）20:05～20:45

場所：江東区教育センター1階大研修室

参加人数：25名

1. 自己紹介

事務局より本日の議論の進め方について説明がなされた後、参加者の氏名、お住まいの地域、関心分野等について自己紹介を行った。

【討 議】

参加者

- ・旅行会社に勤務しており、高齢者や障害者問題の視察に携わった経験を役立てたい。

参加者

- ・区内に在住・在勤している。20数年間透析を受けている立場から現実的な意見を述べたい。

参加者

- ・新聞・メディア関係に従事している。若手ならではの意見を出していきたい。

参加者

- ・有明で物流会社を経営しており、本会議へ社員6名で応募し、社員1名が選ばれたが、本日は代理で出席している。区には24時間体制の救急病院の設置をお願いしたい。

参加者

- ・長年タクシー業界に従事しており、16号線より内側の地域のことはよく知っている。

参加者

- ・外資系企業に勤務しているが、日系企業へ転職希望を持っている。趣味でボランティア活動にも参加している。

参加者

- ・深川ハーモニカサークルに参加しており、高齢者在宅センターで演奏のボランティアを行っている。

参加者

- ・この分野には詳しくないため、いろいろと教えていただきたい。

参加者

- ・数年前からやさしいまちづくりに関するワークショップに携わっている。

参加者

- ・聴覚障害者であり、高齢者・障害者問題に取り組んできた。

参加者

- ・越中島の企業に勤務し、仕事を通じた社会貢献を行ってきたため、在住者とは異なる立場から意見を述べていきたい。

参加者

- ・江東区には20年以上住んでおり、一生住み続けられるよいまちにしたいと思っている。

参加者

- ・主婦である。

参加者

- ・主婦として、高齢者や障害者にやさしいまちづくりに関心がある。

参加者

- ・江戸川区から区内に転居して1年半になる。江戸川区総合人生大学を9月に卒業予定であり、本会議にも関心を持っている。

参加者

- ・やさしいまちづくりや防災、一生住み続けられるマンションに関して市民活動やボランティアに携わっている。

参加者

- ・以前ゼネコンに勤務していたが、今年で定年後4年半となる。現在、ボランティアやNPOで成年後見制度に係わっているほか、江東区パルカレッジの卒業生の集まりで食育、地域医療について学んでおり、皆さんのお役に立てればと思っている。

参加者

- ・豊洲のIHIに勤務している。かつて一帯は工場しかなかったものの住宅開発が増えていく。まちづくりに関心を持つ一方、健康や福祉に不安を覚えることもあり、本会議に応募した。

参加者

- ・結婚後30年以上江東区に住んでいる。江東区で一生を終えたいと思っており、そのために行政として必要なことを考えていきたい。

参加者

- ・高齢者として健康に関心を持っている。

参加者

- ・人との交流が希薄になっている今の世の中を憂い、孤独死を回避するためのボランティア活動に従事している。

参加者

- ・現在降圧剤を服用しており、健康・福祉に関心を持っている。

参加者

- ・区内に住んで 60 年あまりで、サラリーマンとして仕事をした後、地元に戻り 10 数年になる。現在は文化財やダンスに関する活動をしており、健康維持に留意している。

参加者

- ・趣味はジョギングと献血である。以前から区の陸上競技協会で審判を務めており、障害者福祉センターでボランティア活動やヘルパーのアルバイトにも携わっている。

参加者

- ・聴覚障害者である。

2 . その他

- 第 2 ・ 3 ・ 5 回の日程調整を行い、開催候補日を以下の通り決定した。

< 次回以降のスケジュール調整結果 >

第 2 回 10 月 9 日 (火) 19:00 ~ 21:00

第 3 回 11 月 6 日 (火) 19:00 ~ 21:00

第 5 回 12 月 18 日 (火) 19:00 ~ 21:00

(以上)